



### めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校  
みんなが安心できる居心地のいい学校  
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）

めざす子ども像

思いやりのある子  
粘り強くたくましい子  
自ら考え行動する子

令和3年（2021年）1月14日 発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/

いつもここに (あ) (は) (た) (け) (こ) のびのび 野畑 合言葉 (ほ) バリアフリーで 笑顔がいっぱい (た) 体験 楽しい 学びたい (け) 計画立てて 相談 確認

2021  
あけまして  
おめでとう  
ございます



子どもたちの作品と野畑小学校産の黒松・竹・南天」の正月飾りに保護者手描きの“A HAPPY NEW YEAR”で新しい年を迎えた野畑小学校の玄関です。緊急事態宣言が発令され今まで以上に制限の多い中ですが、みんなの力で工夫して、大切に過ごしていきます。今年もよろしくお祈りします。

1月8日（金）の朝、子どもたちは、この冬一番の寒さに負けることなく笑顔で登校してきました。あいさつ運動で生活指導委員長さんと校門前に立っていると、「千里川が凍ってたよ。」「木の葉っぱにつららがついてたよ。」とロタに報告してくれます。学校の飲み水栓のところの氷を見つけて、素手で触って歓声を上げている子、プールにはった氷をわって持ち上げて、手の感覚がなくなったと真っ赤になった手を見せにくる子。本当に元気でかわいらしい野畑小学校の子どもたちです。始業式は、全校が体育館に集まることができないので今回は5年4組をスタジオにして、全クラスにリモート配信して行いました。



あいさつ運動・校門前の様子 飲み水栓のところの氷を触る子どもたち プールにはった氷をもちあげてます 5年4組で始業式。全クラスにリモート配信。みんな背筋がピンと伸びています  
寒い中、校区の危険個所で子どもたちの登校を見守ってくださった生活指導委員のみなさん、地域のみなさんありがとうございました。おかげさまで無事3学期をスタートすることができました。

## 始業式で話しました。

どんなに雨にぬれてもぼくたちは生きている

どんなに世界が変わってもぼくたちは生きていく

左は「天気の子」の最後に語られる言葉です。この言葉を聞いたとき、これは、コロナ禍における私たちのことを言い表していると思いました。「どんなに雨にぬれても」は、「どんなにコロナでつらくても不便でも」私たちは確かに生きている。どんなに世界が変わっても私たちは前を向いて生きていく。一人ひとりが具体的な目標をもって毎日をしっかりと生きていきましょう。そして、生活指導担当からは、下のような話をしました。ご一読いただき、ご家庭でも子どもたちと一緒に「登下校時の安全」と「おもいやり」について話し合ってみてください。

がっき しぎょうしき  
3 学期始業式  
生活指導部

つうがくる  
きまった通学路を  
とお  
通りましょう

